

# スタディ・メイト通信

令和4年3月  
富山県教育委員会  
県立学校課

県立学校課長 佐野 友昭

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、スタディ・メイト養成講座及び研修会は、残念ながら中止いたしました。しかし、スタディ・メイトの資質の向上と、小中学校等における障害のある子供たちへの支援の充実のために、大切な機会であるとの声を多くいただき、今年度は、オンラインを活用するなど十分な感染防止対策を取ったうえで実施させていただきました。運営にご協力いただいた市町村教育委員会のみなさま、関係特別支援学校のみなさまに、感謝申し上げます。

今年度は、新たに38名の方がスタディ・メイト養成講座を修了されました。本講座がスタートした平成18年度以降、たくさんの方々に受講していただき、小中学校等でスタディ・メイトとして活躍しておられます。

平成19年に特別支援教育が法に位置付けられてから、15年が経過しました。この15年の間に、特別支援学級に在籍する児童生徒や通級による指導を受ける児童生徒の数は大きく増え、通常の学級に在籍する発達障害等のある児童生徒への支援ニーズも多様化しました。小中学校等において、スタディ・メイトの果たす役割は今後ますます重要になってくると思われま

す。すべての子供たちが能力を十分に発揮して、自立し社会参加することを目指し、幼稚園、小学校、中学校、高校、成人期と切れ目ない支援の一環として、目の前の子供たちの成長に携わっていただいている皆様に感謝するとともに、より一層ご活躍いただけるよう、県教育委員会として今後も養成講座や研修会の充実に努めてまいります。



## 今年度のスタディ・メイト養成講座について

5月14日(金)の開講式から、8月26日(木)の修了式まで、全5回(第2回、第3回は中止)にわたり、スタディ・メイト養成講座が開催されました。

### 第1回 開講式・全体研修会(令和3年5月14日)

公認心理士・臨床心理士の深澤大地先生に「発達障害の理解と支援～ペアレントトレーニングの発想から～」と題してお話いただきました。「子供の行動を見ること」「ほめるなどの肯定的な注目を与えること」の大切さや、スタディ・メイトの役割は、「担任の先生が観察しきれない、子供のよい部分やできている部分をたくさん見つけてほめること」によって、子供に生きる力を付けていくことなど、子供との関わりにおける大切なことを教えていただきました。



## 受講者の声

行動のみに注目するという考え方がとても新鮮でした。注目の仕方、視点を変えるだけで、その後の子供の様子が全く別のものになっていくということが、とても興味深く、同時に少し恐ろしくも思いました。(中略)心の虫めがねを磨き、きちんと子供を見つめ、向き合えるスタディ・メイトを目指したいと思います！

好ましくない行動が目につくと、ちょっとした子供のよい面に気付かず、マイナスの面ばかり見てしまいがちになる。短い時間でも、1つでもできたことがないか小まめに見つけ、ほめることを積み重ねることが、子供をよい方向に導くことにつながることに改めて気付いた。教師とともにきめ細かい目配りや気配りで、良い面を見付け、それに応じた言葉掛け、身体表現ができるように心の余裕をもって接していきたい。

### 第4回・第5回 特別支援学校における研修（令和3年6月下旬～7月）

県内4地域の特別支援学校を会場に、学校の施設見学や授業参観、発達障害の疑似体験、事例検討など、実践的な研修を行いました。

#### にいかわ総合支援学校

疑似体験や事例検討の研修では、班ごとに話し合い、気付いたことを付箋に書いてまとめ、支援方法を検討しました。「今後は子供の気持ちを理解し、小さな達成感を積み上げられるよう支援したい。」という感想が聞かれました。



#### しらとり支援学校

「席から立ち上がる」「勝手におしゃべりをする」等の子供の行動について、行動の背景や支援方法を検討しました。「子供の目線で適切な支援ができるように努めたい」「今後の対応のヒントになった」などの感想が聞かれました。



#### 高岡支援学校

発達障害児の疑似体験やグループワーク等を通して、特別な支援が必要な児童生徒への具体的な支援方法を学びました。「うまくやりたくても、できない子供のつらさが理解できた」「子供の立場になって支援を考えていきたい」などの感想が聞かれました。



#### となみ総合支援学校

発達障害児の疑似体験や授業参観を通して、子供の困難さや個に応じた支援について考えました。「どうしたらできるかを考えたい」「『小さなできた』を積み重ね、自信につながる支援をしたい」という感想が聞かれました。



## 第6回 全体研修会（令和3年8月19日）

オンラインを活用し、多くの方々に自宅や勤め先から参加していただきました。

前半は、砺波市立庄東小学校長の北田邦弘先生から「学校における服務等について～特別な支援が必要な児童生徒のために～」の演題で、学校の実情やスタディ・メイトの役割、スタディ・メイトとして大切にしてほしいこと等についてお話しいただきました。子供に寄り添い子供の心の居場所になることや学校の一員として教員と連携を取ることの大切さを教えていただきました。

後半は、会場とオンラインの参加者でそれぞれにグループを作り、「こんなときどうする？」と題していくつかの場面を想定し、子供の行動のもつ意味と支援について話し合いました。

## 第7回 全体研修会・閉講式（令和3年8月26日）

富山大学人間発達科学部准教授の和田充紀先生に「発達障害児の理解について」の演題で、障害理解と特性に応じた支援の在り方についてお話しいただきました。「行動を褒める」「短く具体的に」「その場ですぐに」「子供の喜ぶ褒め方で」等、褒める際の大切なポイントを教えていただきました。

### 受講者の声

専門の先生方の講義、他の受講者さんと少しでもお話できる時間をいただけて、自分の中の認識を改めることが多くあり、まだまだ学ばなければいけないということも改めて感じ、貴重な時間でした。現場に入れば、思うように対応できず、悩むことも多くありそうですが、いてくれてよかったといつか誰かに思ってもらえるような存在を目指したいと思います。

困っている子供たちと向き合う上でどのように支援をしたら良いか悩む場面も多いですが、子供たちが少しでも楽しく学習できるよう今後も努めていきたいと思っています。



## スタディ・メイト研修会

令和3年11月22日（月）に、スタディ・メイトの資質向上を図るため、現在活躍されているスタディ・メイトやスタディ・メイト養成講座受講者を対象とした研修会を開催しました。

講師に、元特別支援学校長の山本なつみ先生をお迎えし、「居場所がない子どもたちへの支援」と題して講演していただきました。数多くの子供たちや保護者の支援に携わって来られたご経験をもとに、集団に入れない子の指導において大切なことについて教えていただきました。

### 受講者の声～心に残ったキーワード

- ・自分の中にある「子供」を忘れない！
- ・わくわく感からいろいろなことが生まれる。
- ・子供と一緒に楽しむ。
- ・行動の全体像を見る
- ・もっとアバウトに！
- ・「いい」かげんに生きてみる。
- ・担任からは、自立心を求められる。スタディ・メイトは甘やかしてもいい。
- ・表示は記憶に残りすぎる。変更されるとパニックになる。

# 令和4年度の予定



## スタディ・メイト養成講座

### 【第1回】開講式・全体研修会

- ・日時 令和4年5月13日（金）14:30～16:30
- ・会場 富山県総合教育センター（富山市高田525）

### 【第2回】全体研修会

- ・日時 令和4年6月3日（金）14:00～16:30
- ・方法 オンラインによる受講を基本とし、困難な場合は、会場での受講も可能。
- ・会場 富山県総合教育センター（富山市高田525）

### 【3・4回】実地研修

※実地研修校については、第1回にお知らせします。

会場：特別支援学校（4校）

にいかわ総合支援学校（黒部市石田6682）

高岡支援学校（高岡市東海老坂831）

しらとり支援学校（富山市婦中町下邑2877）

となみ総合支援学校（南砺市利波河1335-5）

### 【第5回】全体研修会

- ・日時 令和4年7月25日（月）14:00～16:30
- ・方法 オンラインによる受講を基本とし、困難な場合は、会場での受講も可能。
- ・会場 富山県総合教育センター（富山市高田525）

### 【第6回】全体研修会

- ・日時 令和4年8月3日（水）9:30～12:00
- ・方法 オンラインによる受講を基本とし、困難な場合は、会場での受講も可能。
- ・会場 富山県総合教育センター（富山市高田525）

### 【第7回】全体研修会・閉講式

- ・日時 令和4年8月25日（木）9:30～12:00
- ・会場 富山県総合教育センター（富山市高田525）

## スタディ・メイト研修会

- ・日時 令和4年11月14日（月）午後

※スタディ・メイト養成講座は、現在、スタディ・メイトとしてご活躍の方でも、講座を未修了であれば受講できます。また、第1回・第7回は、養成講座を受講済みの方もオンラインで聴講することができます。

※スタディ・メイト養成講座の第1回・第7回は、幼稚園、認定こども園、保育所の先生方にも公開しています。詳細は、別途ご案内します。

お問合せ・お申込みは、  
市町村教育委員会まで

